

★ SmartAngel ベビーカー

DE YOUNE

デ・ヨーン

取扱説明書／保証書



このたびはお買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
- 本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。

も く じ

はじめに

ご使用前に	1
安全にご使用いただくために	1
各部のなまえ	4

ベビーカーの使いかた

ベビーカーの開きかた	5
ハンドルの切り替えかた	6
キャスターロックの使いかた	7
ストッパーの使いかた	8
フロントガードの使いかた	8
幌の使いかた	9
シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた	10
背もたれの使いかた	14
フットレスト・アジャスターの使いかた	15
折りたたみかた	15

部品のはずしかた・取り付けかた

ガードカバー	17
幌	17
カゴ	18
シート	19

その他



日常のお手入れ	22
保管のしかた	22
廃棄方法について	22
品質保証書	裏表紙

ご使用の前に



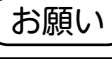
- この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車(ベビーカー)です。
- 望ましい連続使用時間：2時間以内(ただし、7ヶ月以上を対象にした座位使用時は1時間以内)
- 使用の範囲：生後1ヶ月以上※36ヶ月ころまでで、体重15kg以下のお子さま(お子さまの発育により個人差があります)
※生後1ヶ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ胎週数37週以上を満たし、1ヶ月経過したお子さまを示します。
- ご使用の前に、裏表紙「保証書」に次の項目を記入してください。
 - ①ロット No.(後脚後側から見て右のパイプに貼ってあるシールに記載されています。)
 - ②お客様のお名前・ご住所・電話番号
 - ③販売店名
- 領収書(レシート)、または保証書シール、または保証書レシートを本書といっしょに保管してください。

安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよびご使用者が重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性があります。

- お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

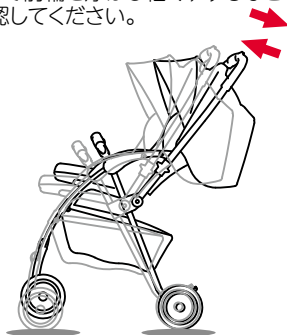
	警告/注意をうながす内容があることを告げるものです。
	禁止行為であることを告げるものです。
	補足の説明を示すものです。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

お子さまが落ちたりベビーカーが折れたたまるおそれがあります。

- ロックが確実にかかっていること(ベビーカーが完全に開いた状態であるか)を確認してから使用してください。ハンドルを持って前輪を浮かし軽くゆするなどして確実にロックしているか確認してください。



- お子さまを乗せたまま、フロントガードを持つなどしてベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりバランスを崩し、転倒するおそれがあります。



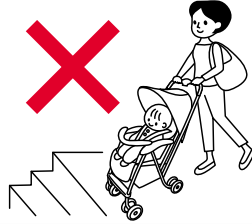


警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。



- 破損や異常が発生した場合は使用を中止し、当社までご連絡ください。



お子さまが落ちるおそれがあります。

- すべてのシートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を必ず締めて使用してください。
- お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がる場合があります。目を離さず、十分注意してご使用ください。
- 肩ベルトは、お子さまの体格にあわせて調節してください。長すぎると首に巻きつく危険があります。

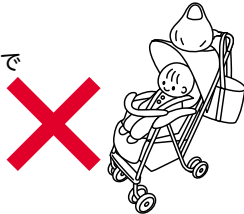


- お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。



ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

- お子さまを乗せているとき、カゴ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。特にハンドルにつると不安定になり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。



- ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外の所に乗せないでください。また、お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。



- ご使用中にハンドルによりかかったり、荷物をつるすなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。



- お子さまが乗り降りする際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますので、しっかりと支えてください。

ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

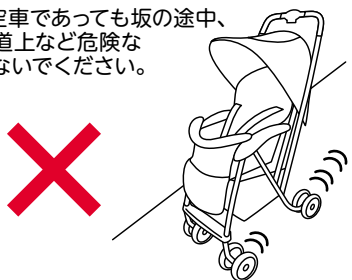
- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。



- お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。



- ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。



指をはさむなど思わぬケガをするおそれがあります。

- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時には、他人や小さいお子さまを近づけずに行ってください。指をはさんだりするおそれがあります。
- お子さまがアームレストに手をかけたままハンドルを切り替えますと、手や指をはさむおそれがあります。必ず手をかけていないことを確認してください。
- 幌を開いたり折りたたんだりするときには、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足などをはさむおそれがあります。

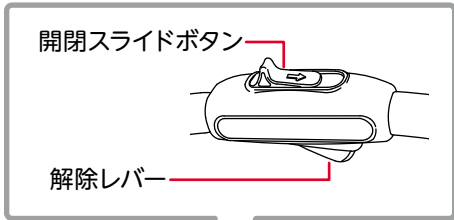
⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性あります。

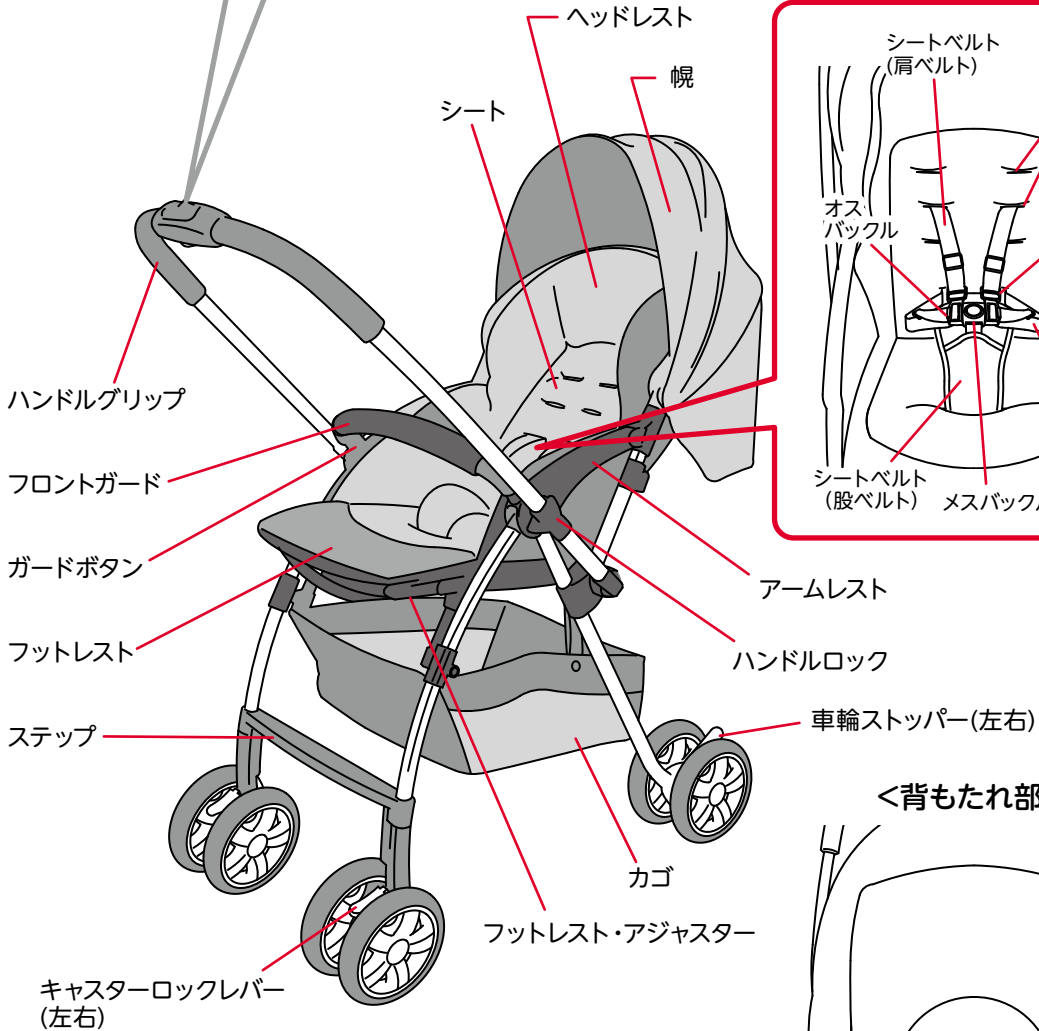
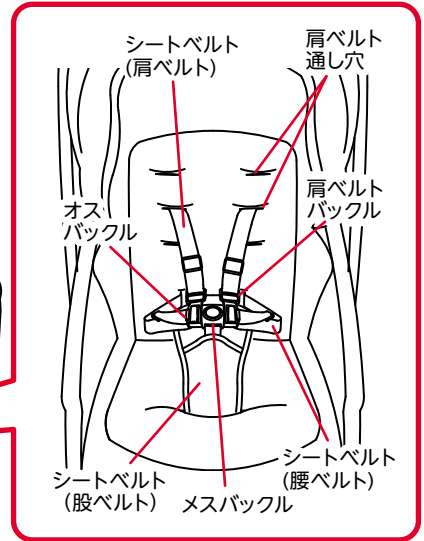
- お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。目的以外の使用では破損などのおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまの乗車時はもちろん空車であってもフロントガードを持って持ち運ばないでください。ベビーカーが急に折りたたまれたり、フロントガードがはずれたり、手がすべて落下するおそれがあります。
- フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損のおそれがあります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また必要以上に広げたりしないでください。
- お子さまを乗せたとき、シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を締め、ベルトにゆるみがないことを確認してください。お子さまが抜け出したり、落下するおそれがあります。
- おすわりができないお子さまの場合は、背もたれを倒した状態でご使用ください。
- 背もたれを最も倒した状態でもお子さまが窮屈な場合は、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。ただし、この使用法は寄りかかっておすわりができるお子さまに限りです。
- お子さまの頭がヘッドレストに当たる場合は、背もたれを最も倒した状態で使用しないでください。ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは走らないでください。走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- カゴには5kg以上の荷物を入れないでください。破損の原因となります。
- 段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。段差を無理に乗り越えようとすると、前輪に衝撃が加わり、破損・故障の原因となります。
- 踏切を渡るときは、線路の溝に車輪を取られたり、はさまないように、溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ベビーカーだけでなくご使用者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いときには使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- 火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用前に、ネジやナットなどにゆるみがないか確認してください。ゆるみやきしみがある場合は使用を中止し、必ず当社へご連絡ください。部品に異常なゆるみやきしみがあつたり、部品の欠落、車輪の回転が円滑でない場合は、重大な事故につながるおそれがあります。
- 長時間の使用禁止
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。寝かせた姿勢では2時間以内、すわせた姿勢では1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- バスの中では使用しないでください。
本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品は、電車などの移動交通機関の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車などの中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。
- 電車などのご利用時に、無理な乗り降りはしないでください。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり、重大な事故につながるおそれがあります。

各部のなまえ

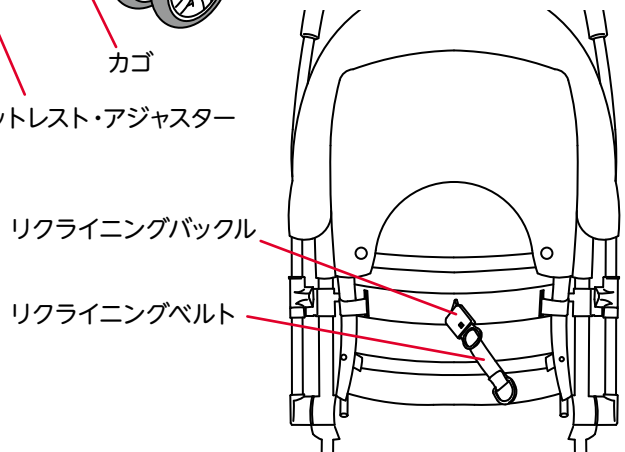
<手元操作部>



<シート中央部>



<背もたれ部>



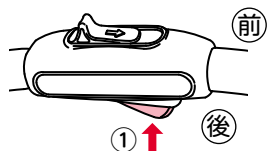
ベビーカーの開きかた



- ・使用する前に、ロックがかかっていることを必ず確認してください。急に折りたたまれるおそれがあります。
- ・ベビーカーを開くときは他の人やお子さまに触れさせないでください。手をはさむおそれがあります。

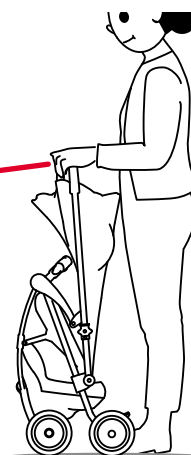
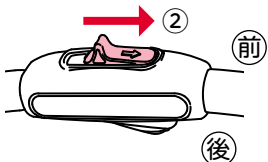


- ・お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ベビーカーを持ち上げた状態で、開閉操作をすると、破損のおそれがあります。
- ・ベビーカーの開閉操作時にはハンドル切り替え操作（6ページ参照）を同時に行わないでください。破損のおそれがあります。
- ・解除レバーを握らずに、開閉スライドボタンを操作しないでください。無理に操作すると破損するおそれがあります。

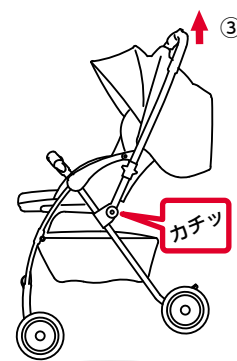


① 解除レバーを握って押し込む。

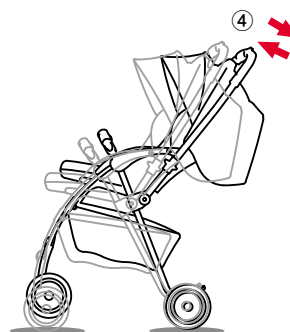
② 開閉スライドボタンを矢印方向にスライドさせる。



③ ハンドルを持ち上げ、開閉スライドボタンを離す。
(ハンドルから手は離さない)
「カチッ」と音がするまで完全に持ち上げロックさせる。



④ ハンドルを持って前輪を浮かし軽くゆすって、確実にロックされているか確認する。



ベビーカーを地面につけた状態から操作を始めてください。
ベビーカーを持ち上げた状態で操作するとベビーカーが急に開いて危険です。

ハンドルの切り替えかた

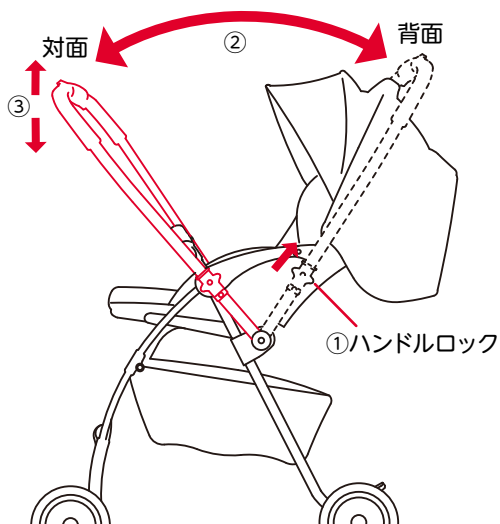


- ・お子さまがアームレストに手をかけたままハンドルを切り替えますと、手や指をはさむおそれがあります。必ず手をかけていないことを確認してください。
- ・ハンドルを切り替えるときは、お子さまの正面側からお子さまのようすを確認しながら、操作してください。



- ・危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。
- ・車体を開いたりたたんだりするときには、ハンドルロックは操作しないでください。ベビーカーが故障するおそれがあります。

- ①左右のハンドルロックを上引き上げ、ロックを解除する。
- ②ハンドルの向きを変えた側のロック受けにしっかりとロックする。
- ③ハンドルを上下左右に動かし、ロックされたことを確認する。

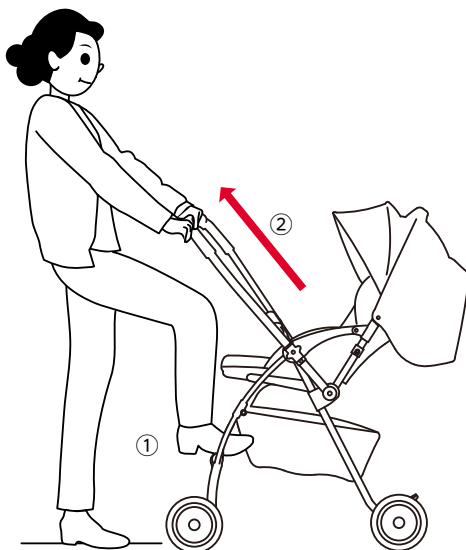


ハンドル対面時の使いかた



対面状態では、段差を乗り越えにくい場合があります。その場合には、ステップに足をかけて前側の車輪を浮かせたり、使用者が先に段差に上がるなどの方法で段差を乗り越えてください。車輪を浮かせると、ベビーカーが不安定になり、転倒しやすくなりますので、十分注意して操作してください。

対面状態でご使用のとき、段差を乗り越えにくい場合は、ステップに足をかけて、ハンドルを手前に引くと、前側の車輪が浮きやすくなります。



- ①ステップに足をかける
- ②ハンドルを手前に引く

キャスターロックの使いかた

- キャスターロックを解除すると、平坦な路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。
- キャスターロックを使用すると、坂道や凸凹の路面で押しやすくなります。

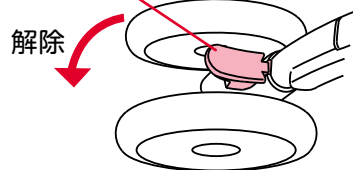


- ・キャスターロックレバーは、ベビーカーの進行方向と逆に向けてロックしてください。
- ・キャスターをロックする位置を間違えて使用すると、押しづらだけでなく故障の原因となります。

キャスターロックを使用しない場合

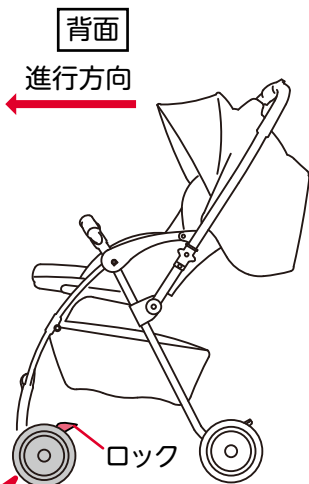
キャスターロックレバーを下げ、
ロックを解除する。

キャスターロックレバー



キャスターロックを使用する場合

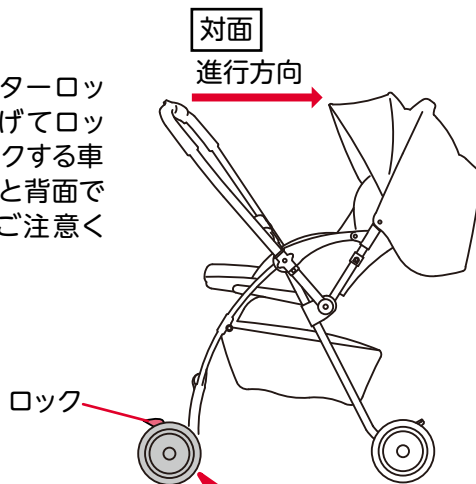
坂道や凹凸のある路面で押すときは、キャスターロックを使用する。




キャスターロック
レバーを内向きにし
てロックする



左右のキャスターロッ
クレバーを上げてロッ
クします。ロックする車
輪位置は対面と背面で
は違います。ご注意く
ださい。



キャスターロック
レバーを外向きにし
てロックする



ストッパーの使いかた



警告

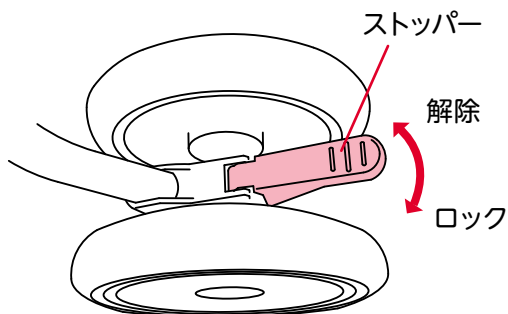
告

- ・ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- ・お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。
- ・お子さまを乗せ降ろしするときは、必ずストッパーをかけてベビーカーが動かないことを確認してください。
- ・ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

ベビーカーを停止させているときには、必ずストッパーのロックをかけてください。

ストッパーをロックするとき

1. 左右後車輪のストッパーを押し下げてロックする。
2. ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。



ストッパーのロックを解除するとき

左右後車輪のストッパーを押し上げる。

フロントガードの使いかた



警告

告

- ・フロントガードに関係なく、お子さまを乗せるときには必ずシートベルトを締めてください。
- ・フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。
- ・ガードボタンはお子さまには操作させないでください。落下などのおそれがあります。
- ・フロントガードを持ってベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちるおそれがあります。



注意

意

- ・フロントガードを引っばって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- ・フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。

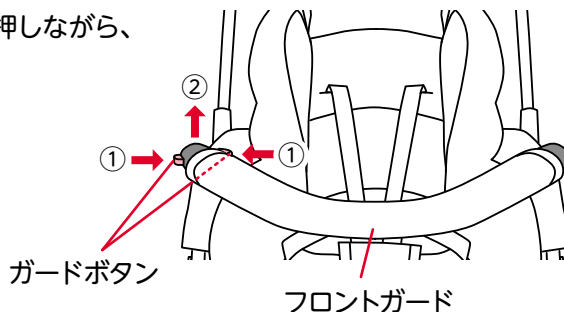
お子さまの乗せ降ろし時にフロントガードを開くと、足などが引っかかりません。

フロントガードを開くとき

- ① ガードボタンを矢印方向に2つ同時に押しながら、
- ② フロントガードを引き抜く。

お願い

フロントガードの開閉ができるのは正面から見て左側だけです。

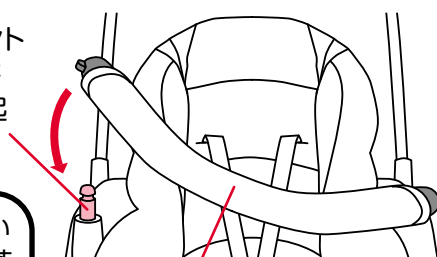


フロントガードの使いかた

フロントガードを閉じるとき

フロントガードをフロントガード用突起にあわせて押し込む。

フロント
ガード
用突起



フロントガード



警告

フロントガードを取り付けた後、確実にロックされているか引っぱって確認してください。ロックが不完全ですとお子さまが転落するなど重大な事故につながるおそれがあります。

幌の使いかた



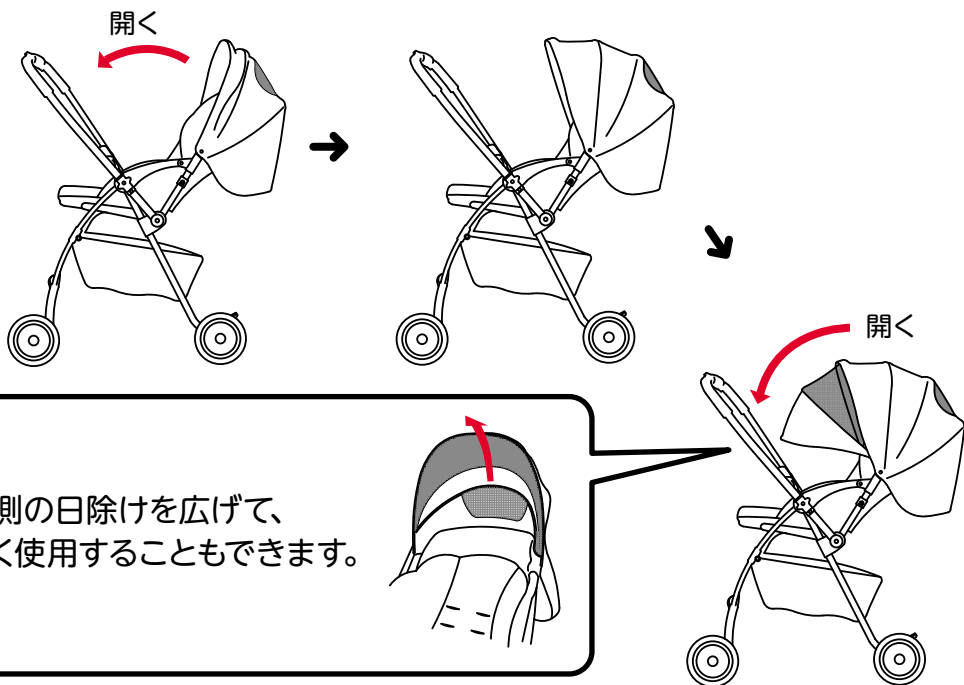
警告

・幌を開いたり折りたたんだりするときには、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手を挟んだりするおそれがあります。

- 幌のはずしかた、取りつけかたについては、17ページをご覧ください。

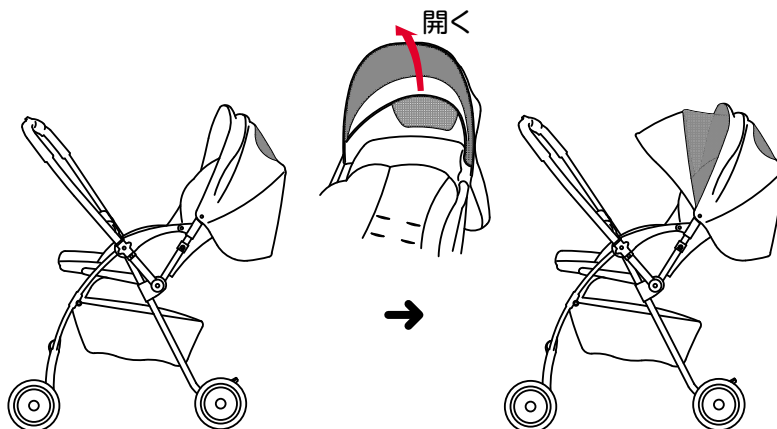
使用するとき

幌を前に広げる。

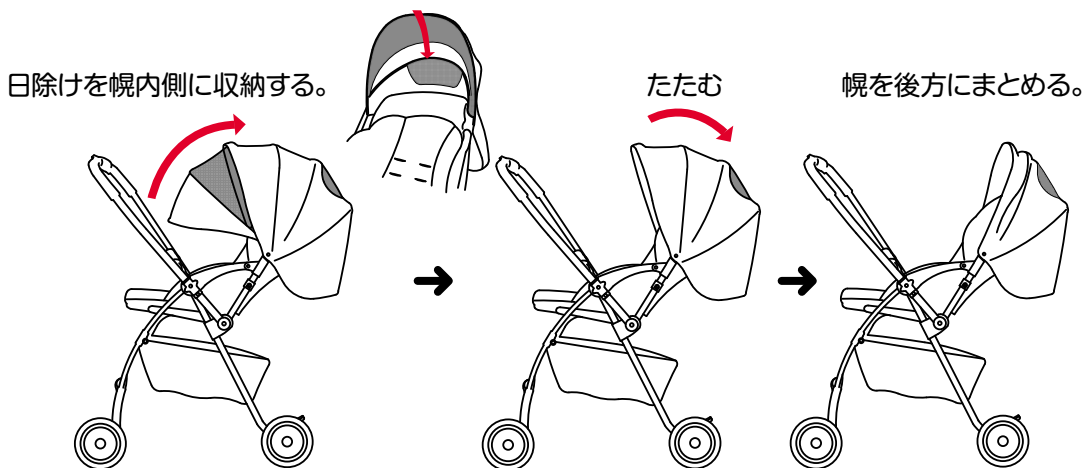


幌内側の日除けを広げて、大きく使用することもできます。

日除け部分だけを広げてメッシュ幌として使用することもできます。



収納するとき



シートベルト(股ベルト、腰ベルト、肩ベルト)の使いかた



- 必ずすべてのシートベルトを締めて使用してください。また、ベルトにゆりみがないことを確認してください。締めずに使用したり、ベルトがゆるんでいると、お子さまが抜け出したり、落ちるおそれがあります。
- お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がる場合があります。目を離さず、十分注意してご使用ください。
- シートベルトの長さは、お子さまの体にあわせて調節し、しっかりと締めてください。肩ベルトが長すぎる状態にしておくと、首に巻きつく危険があります。

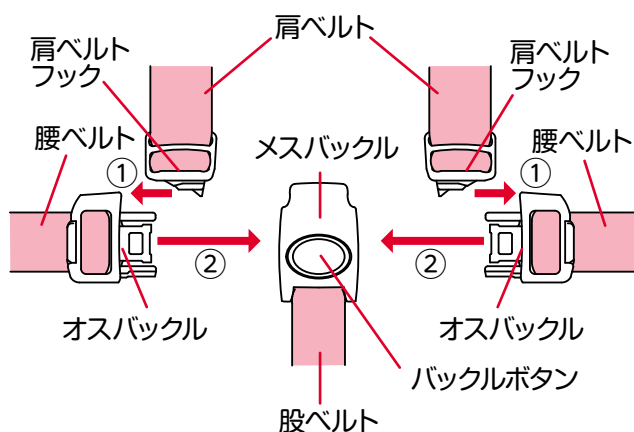
シートベルトとは、股ベルト、腰ベルト、肩ベルトの総称です。

シートベルト(股ベルト、腰ベルト、肩ベルト)の使いかた

シートベルトの締めかた、はずしかた

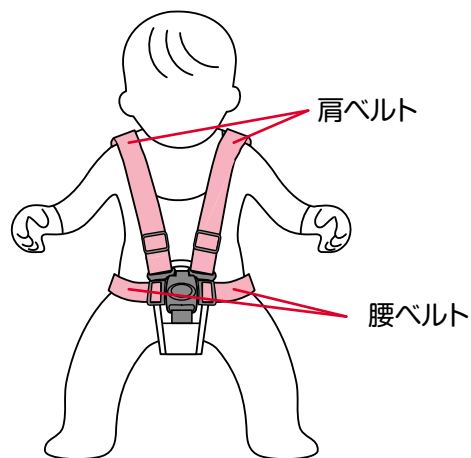
シートベルトを締めるとき

- ①肩ベルトフックを左右のオスバックルに引っかける。
- ②股ベルトのメスバックルの左右に、腰ベルトのオスバックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認する。
- ③肩ベルト、腰ベルトを引っばって、はずれないことを確認する。



お子さまへの装着のしかた

- ①お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトをあわせる。
- ②肩ベルトフックを左右のオスバックルに引っかけ、メスバックルの左右に、腰ベルトのオスバックルを差し込む。



お願い

- ・背もたれを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下側の肩ベルト通し穴を使用してください。(肩ベルトの位置調節は13ページ参照)

シートベルトをはずすとき

股ベルトのバックルボタンを押す。

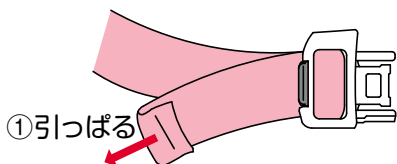
シートベルトの調節のしかた

腰ベルトの長さ調節

腰ベルトを締める(短くする)

- ①ベルトの先端側を引っ張り、お子さまに合うように、長さを調節する。

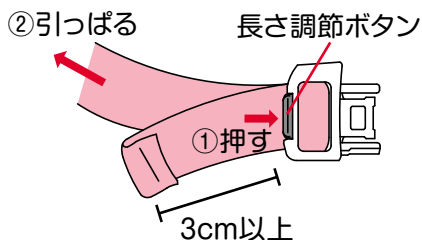
締める時



腰ベルトをゆるめる(長くする)

- ①オスバックルの長さ調節ボタンを押す。
- ②ベルトの付け根側を引っ張り、お子さまに合うように、ベルトをゆるめる。

ゆるめる時



警告 シートベルト取り付け後、腰ベルトを強く引っ張り、腰ベルトがバックルから抜けないうことを確認してから使用してください。

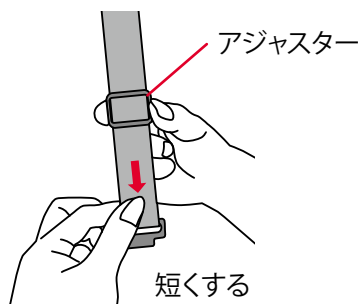


注意 腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。短いと使用中に、腰ベルトがオスバックルから抜けてお子さまが落ちるおそれがあります。

肩ベルトの長さ調節

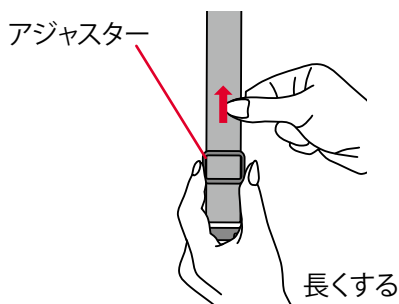
肩ベルトを締める(短くする)

- ①アジャスターを持ち、下側のベルトを引っ張りお子さまに合うように、長さを調節する。



肩ベルトをゆるめる(長くする)

- ①アジャスターを持ち、上側のベルトを引っ張りお子さまに合うように、ベルトをゆるめる。



お願い

アジャスターは肩ベルトから、取りはずしできません。
股ベルトは、長さ調節、取りはずしできません。

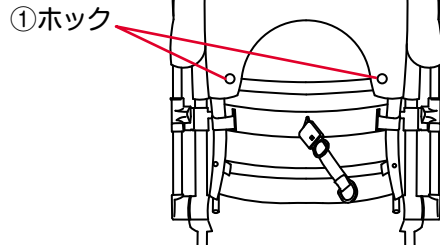
肩ベルトの位置調節



- ・おすわりができるようになったら、成長に合わせて肩ベルトの通し穴の位置を調節してください。
- ・シートベルトをお子さまの体格に合わせて確実に締めて使用しないと、お子さまが抜け出したり、立ち上がったり、落ちるおそれがあります。

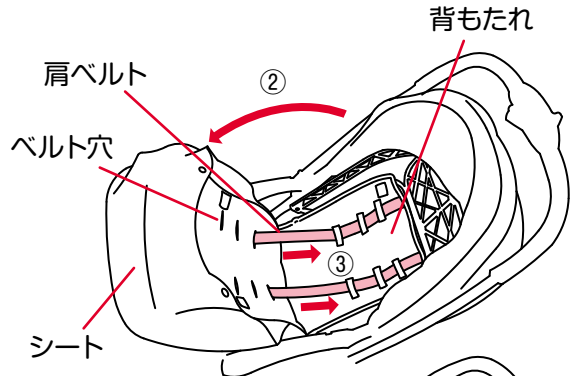
お子さまが成長し、肩の位置が合わなくなった場合には、肩ベルトの位置を変え、シートのベルト穴に通しなおし調整します。

①シート裏側のホック(2ヶ所)をはずす。

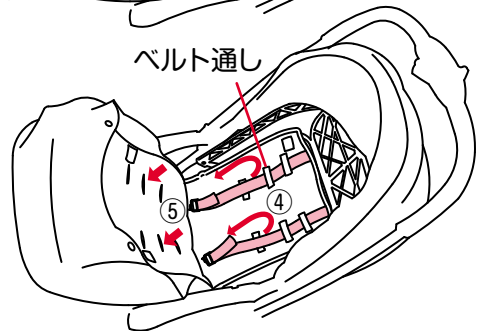


②シートを背もたれからはずす。

③肩ベルトをベルト穴から抜き取る。



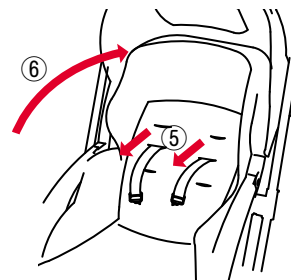
④肩ベルトをベルト穴に合った高さのベルト通しに通しなおす。



- ・肩ベルトの高さは3段階に調節できます。通したいベルト穴の高さに合った位置のベルト通しに肩ベルトを通してください。位置が合っていないと、シートベルトがしっかり締められません。

⑤肩ベルトをシートのベルト穴に通す。

⑥シートを背もたれに取り付け、シート裏側のホック(2ヶ所)をとめる。



背もたれの使いかた



- ベビーカーを押しながら背もたれの操作をしないでください。非常に危険です。
- 背もたれの操作時は、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま背もたれを操作しないでください。背もたれの操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。



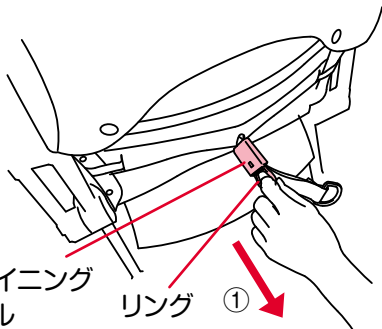
- おすわりができないお子さまの場合は、背もたれを倒した状態でご使用ください。

背もたれの使いかたの目安

- 1ヵ月～首がすわるまで→背もたれは最も倒した状態でご使用ください。
- 首がすわってから、ひとりでおすわりができるまで→背もたれは最も倒した状態から中間位置まで起こした状態でご使用ください。
- ひとりでおすわりができるようになったら→背もたれは最も倒した状態から最も起こした状態でご使用ください。

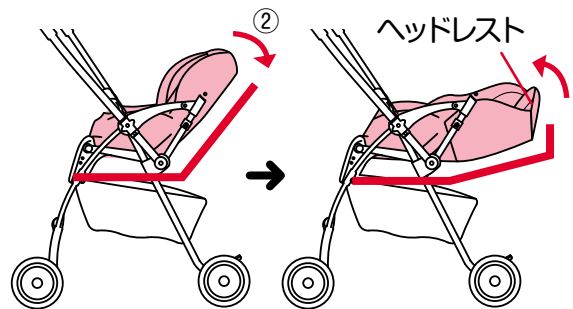
背もたれの倒しかた

①リクライニングバックルのリングを引っぱる。



② 背もたれを倒す。

ヘッドレストが起きあがってきます。



お願い

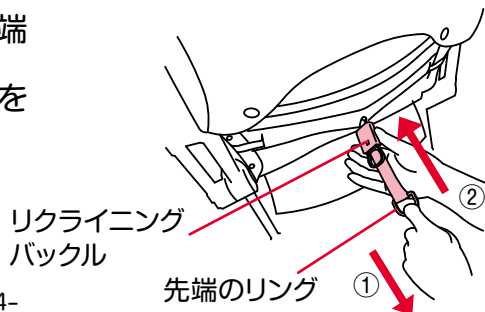
ひとりでおすわりができるお子さまで頭がヘッドレストに当たる場合は、背もたれを倒したときに無理な姿勢になりますので、ヘッドレストが起き上がらない位置(中間位置)でとめてください。

背もたれの起こしかた

- ①片方の手でリクライニングベルト先端のリングを引ながら
- ②他方の手でリクライニングバックルを押し上げる。

お願い

お子さまの体重が背もたれにかかった状態では、起こすことはできません。



フットレスト・アジャスターの使いかた



- ・お子さまを乗せた状態で、フットレスト・アジャスターの操作をしないでください。お子さまや操作する人の、足、手、指をはさんだりするおそれがあります。
- ・フットレスト・アジャスターを起こした状態で、フットレストの上にお子さまを乗せたりお子さまを立たせたりしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。

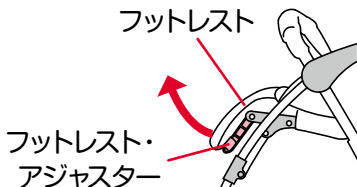


- ・フットレストの上に物をのせないでください。故障や変形の原因となります。
- ・フットレスト・アジャスターの操作時は手や指をはさまないように十分注意して行ってください。

※背もたれを倒した状態でお子さまを乗せるときは、フットレストを使用すると便利です。

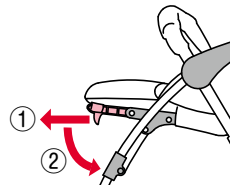
フットレストの起こしかた

左右のフットレスト・アジャスターをロックする位置（水平）まで持ち上げる。（左右2ヶ所）



フットレストのたたみかた

①フットレスト・アジャスターを手前に引きながら②フットレストを下げる。（左右2ヶ所）



お願い ○ お子さまが楽な姿勢になる位置で使用してください。

折りたたみかた



- ・お子さまを乗せたまま絶対に開閉操作を行わないでください。重大な事故につながるおそれがあります。
- ・ベビーカーを折りたたむときは、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ・お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・開閉スライドボタンは折りたたみ操作時以外は動かさないでください。
- ・お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。



- ・解除レバーを握らずに、開閉スライドボタンを操作しないでください。無理に操作すると破損するおそれがあります。
- ・ハンドルが対面状態のままベビーカーを折りたたまないでください。破損するおそれがあります。
- ・何かに引っかかっていたり、はさみ込まれている感じが合った場合には、一度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- ・折りたたむ前に、カゴに何も入っていないことを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
- ・折りたたむ前に、幌が完全にたたまれたハンドルの位置にまとめられていることを確認してください。幌の変形や破損の原因となります。
- ・折りたたむときは、キャスターをロックしてください。キャスターがロックされていないと、折りたたんだ状態でベビーカーが倒れやすくなるおそれがあります。

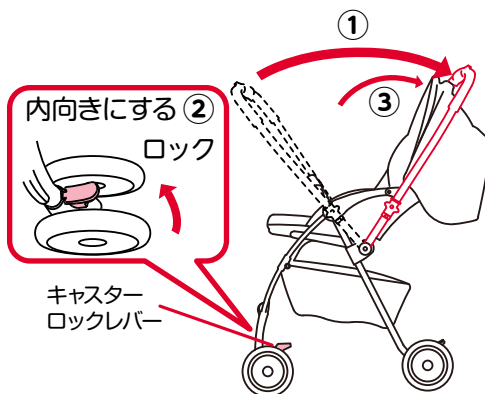
※幌を取り付けていても、ベビーカーはそのまま折りたたむことができます。
折りたたむときは、必ず幌をたたんでハンドルの位置にまとめてください。

1 折りたたむ前に

①ハンドルを背面位置にする。
(6ページ参照)
※ハンドルが対面位置では折りたたみ
できません。

②キャスターを内向きにしてロックする。
(7ページ参照)

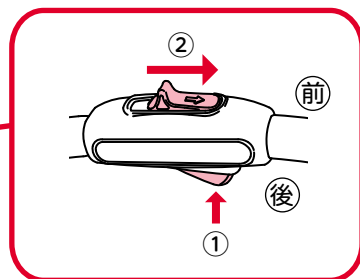
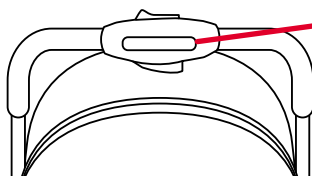
③幌をたたんだ状態にする。
(9ページ参照)



2 折りたたみ

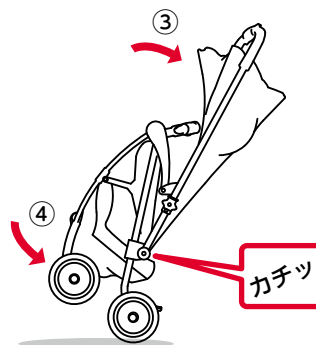
①解除レバーを握って押し込む

②開閉スライドボタンを矢印方向に
スライドさせる



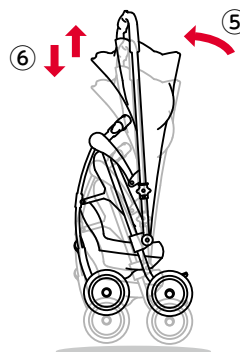
③車体を後ろに傾け、開閉スライドボタ
ンを離す。
(ハンドルから手は離さない)

④「カチッ」と音がするまで完全に折り
たたみロックさせる。



⑤車体を起こす。

⑥上下に軽くゆすって、確実にロックさ
れているか確認する。



部品のはずしかた・取り付けかた

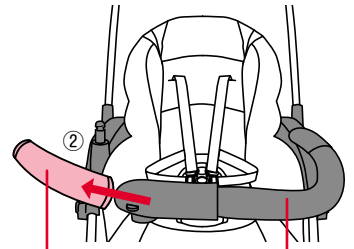
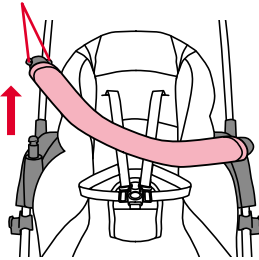
ガードカバーのはずしかた

①ガードボタンを押して、フロントガードを開く。(8ページ参照)

ガードボタン

②フロントガードからガードカバーを抜き取り、はずす。

①



ガードカバー

フロントガード

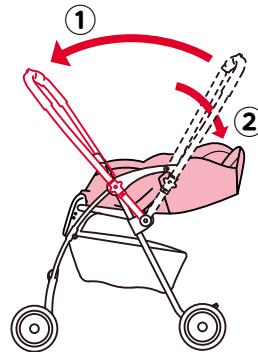
お願い

お子さまをベビーカーに乗せる際には、ガードカバーをつけてお使いください。

幌のはずしかた、取り付けかた

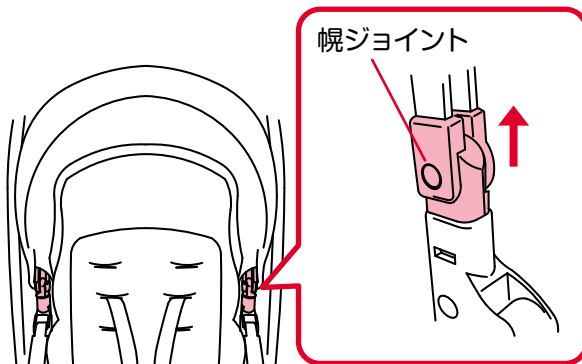
①ハンドルを対面位置にする。(6ページ参照)

②背もたれを最も倒した状態にする(14ページ参照)



はずしかた

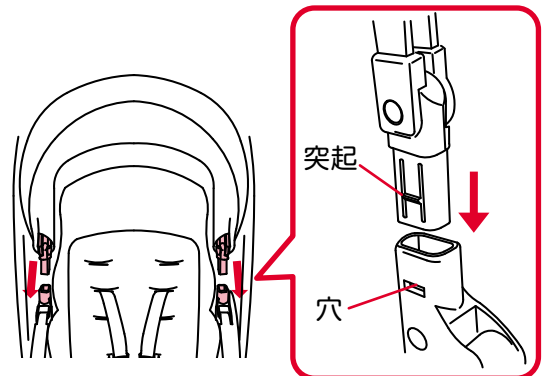
幌をたたみ、幌ジョイントを上へ引っ張り、はずす。



幌ジョイント

取り付けかた

幌をたたみ、幌ジョイントの突起が穴にはまるまで差し込み固定する。



突起

穴



幌を上下に軽くゆすって、幌ジョイントが穴に確実にハマっていることを確認してください。

部品のはずしかた・取り付けかた

カゴのはずしかた



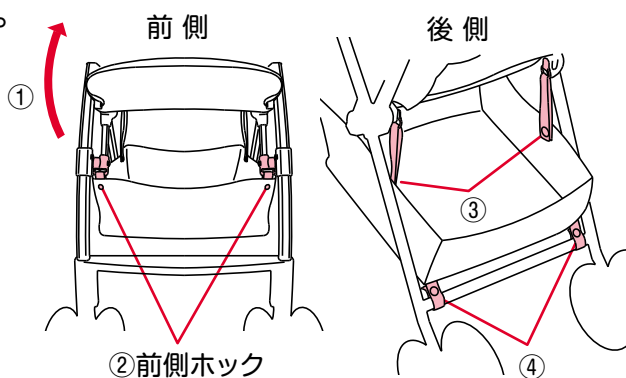
- ・5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
- ・角のとがったものや、カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。カゴの変形およびやぶれの原因となります。
- ・ベビーカーを折りたたむときは、荷物を取り出してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になります。
- ・荷物はできるだけカゴの底に均等に荷重が加わるように入れてください。カゴが地面とこすれるおそれがあります。

① フットレスト・アジャスターを起こす。
(15ページ参照)

② カゴ前側のフックをはずす。
(左右2ヶ所)

③ カゴ中央のフックをはずす。
(左右2ヶ所)

④ カゴ後側のフックをはずす。
(左右2ヶ所)

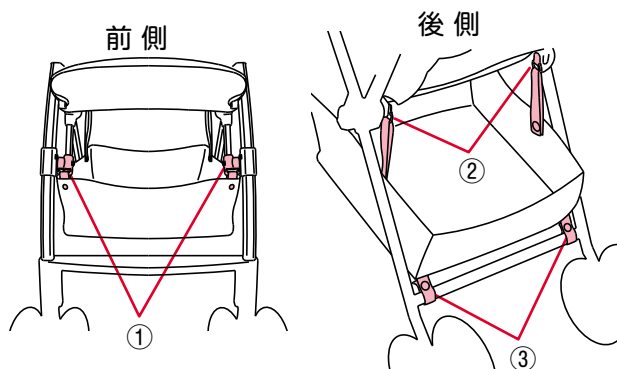


カゴの取り付けかた

① 車体の前側引っかけ部にカゴの前側フックを通してとめる。
(左右2ヶ所)

② 車体の中央の引っかけ部にカゴの中央フックを通してとめる。
(左右2ヶ所)

③ 車体の後部フレームにカゴの後側フックを巻きつけてとめる。
(左右2ヶ所)



シートのはずしかた、取り付けかた



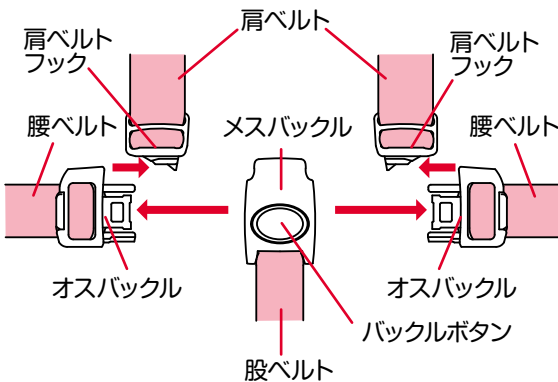
- ・シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- ・やぶれやほつれの発生したシートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
- ・シートを取り付ける際には、ホック類を確実にとめてください。取り付けが不完全ですとケガややぶれなどの原因となります。



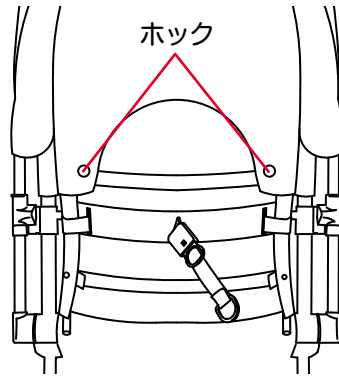
お子さまの服や靴に面ファスナーが付いている場合は、シートに面ファスナーが付着しないように気をつけてください。メッシュ生地に引っかけて傷つけるおそれがあります。

はずしかた

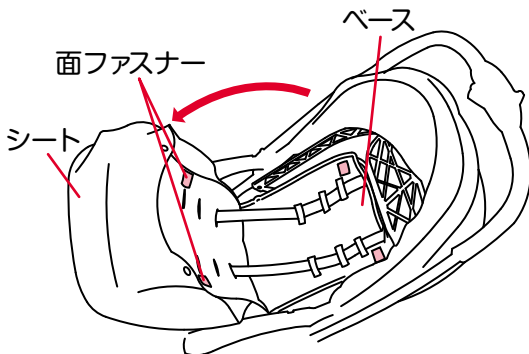
- ①バックルボタンを押して、バックルをはずし、腰ベルトから肩ベルトフックをはずす。



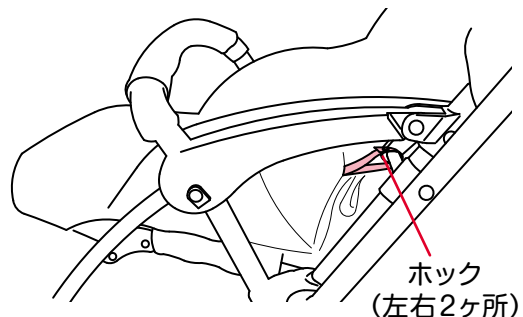
- ②シート背側のホック（2ヶ所）をはずす。



- ③面ファスナー（2ヶ所）をはずし、シートをベースから離す。

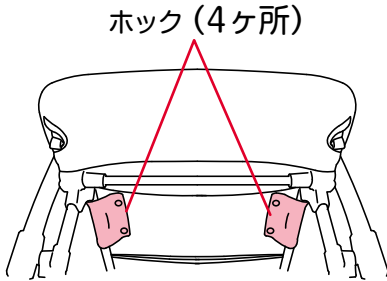


- ④アームレスト下側に固定されたホック（左右2ヶ所）をはずす。

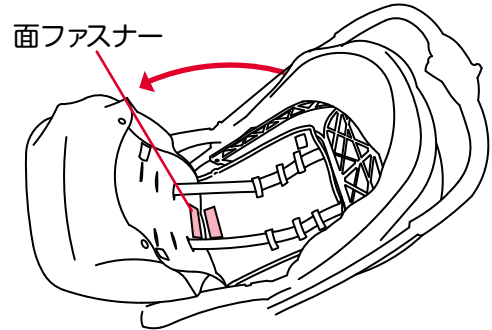


はずしかた

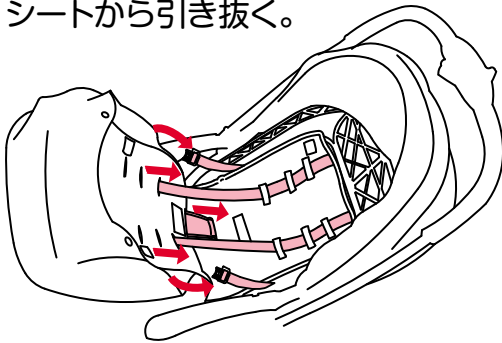
- ⑤座面裏にあるホック
(4ヶ所) をはずす。



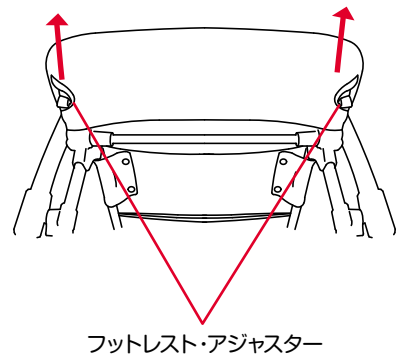
- ⑥腰部の面ファスナーをはずす。



- ⑦肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを
シートから引き抜く。

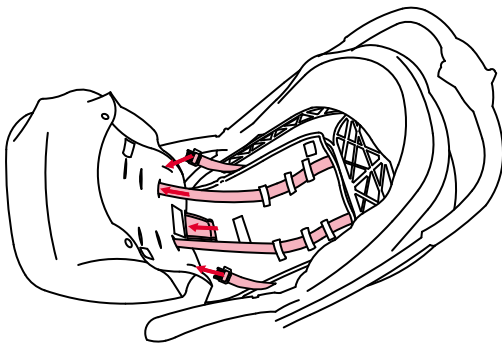


- ⑧フットレスト・アジャスターを起し、シートを抜き取ってはずす。

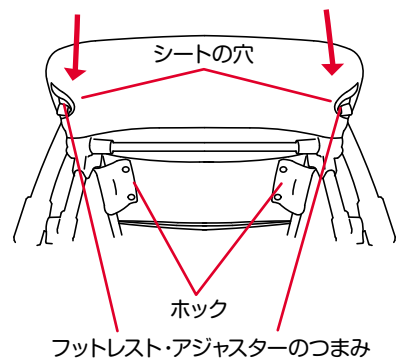


取り付けかた

- ①シートのベルト通し穴に肩ベルト、
腰ベルト、股ベルトを通す。



- ②フットレスト・アジャスターにシートを
かぶせる。シートの穴からフットレス
ト・アジャスターのつまみ部分が出る
ようにする。座面裏にホック (4ヶ所)
をとめる。



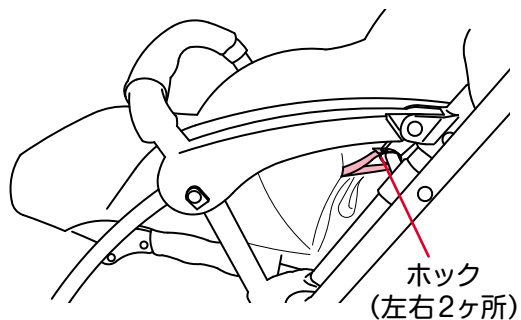
お願い

肩ベルトの位置については
13ページをご覧ください。

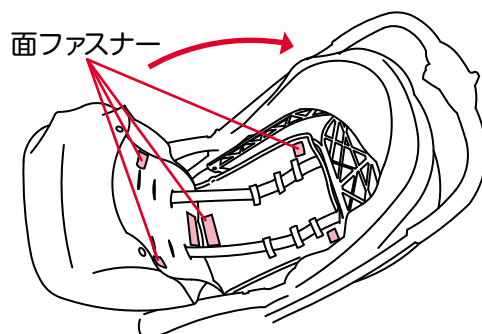
シートのはずしかた、取り付けかた

取り付けかた

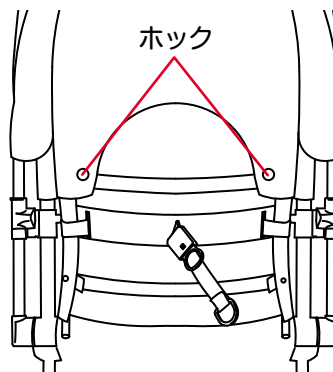
- ③アームレスト下側にホック（左右2ヶ所）をとめる。



- ④腰部の面ファスナー（1ヶ所）、背部の面ファスナー（2ヶ所）をとめる。



- ⑤シートを背もたれにかぶせシート背側のホック（2ヶ所）をとめる。



日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

●シート、ガードカバーの洗濯

- ・30℃以下の液温で手洗いしてください。
- ・洗濯機は使用しないでください。
- ・きついもみ洗いはしないでください。
- ・通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
- ・長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
- ・十分にすすぎ、軽く脱水した後、形をととのえて、平干してください。
- ・乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

●幌、カゴの洗濯

- ・幌やカゴは液中につけず、30℃以下の液温の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- ・幌のプラスチック部分やカゴのホックなどでケガをしないように注意してください。
- ・洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- ・乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

- ※ 製品の特性上、若干色あせすることがあります。また生地が縮んだり型くずれすることがあります。
- ※ 洗剤は、(蛍光剤・漂白剤・酵素などを含まない)中性洗剤を使用することをおすすめします。また、快適にお使いいただくために、こまめに洗濯することをおすすめします。
- ※ 保管状態により、カビが発生することがあります。こまめに洗濯をし、清潔に保つよう心がけてください。
- ※ 幌フレームは幌からはずせません。

車体の清掃について



車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

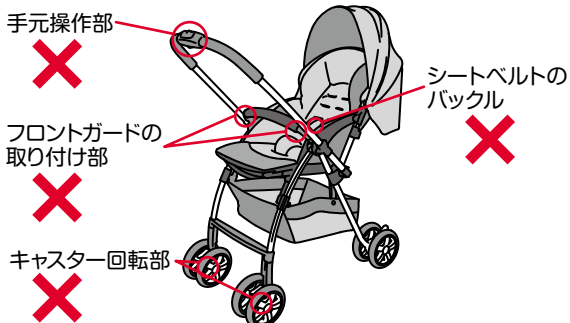
- 車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り洗剤分が残らないようにします。

注油について



お子さまがなめる可能性が高いフロントガード、アームレストなどには油が付着しないようご注意ください。

- きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油(シリコン系)を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
- 下に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



保管のしかた



火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

- 直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
- 車のトランクに入れて運ぶ場合は、背もたれ部を下にして寝かせてください。

廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。